



8月に開かれた懇親会の様子

## エコレザー座談会

**宮内 清彦氏**

(信州皮革産業連合 会長／宮内産業(株) 社長)

**三村 照実氏**

(信州皮革産業連合 事務局／宮内産業(株))

**吉村 圭司氏**

(NPO法人日本皮革技術協会 副理事長)

**稲次 俊敬氏**

(NPO法人日本皮革技術協会 副理事長)

# 地域の皮革産業活性化を目指しリックスを組織。 団体ブランド「LICCS」を広く発信していく

## 生き残りを賭けて、 自分たちの存在をアピール

**吉村** 今回は10月号のエコレザー座談会に出席していただいた、宮内産業の宮内清彦社長が会長に就任している、信州皮革産業連合(Leather Industry Cluster of Shinsyu／略称LICCS)リックスを紹介します。地域の皮革関連企業の集まりで、団体ブランド「LICCS」を立ち上げていきます。

座談会には会長の宮内清彦社長と事務局の三村照実さん(宮内産業)に参加していただきました。また、座談会の後で開かれたリックスの懇親会

では、会員の皆さんに「LICCS」に対する期待なども聞きました。はじめに、信州皮革産業連合(以下、リックスの設立の経緯・目的からお聞かせください。



Leather Industry Cluster of Shinsyu

LICCSロゴマーク

**宮内** あと10年も経てば、ここ長野・飯田市にはリニアモーターカーの駅が誕生し、東京から40分、名古屋まで20分という立地になります。こういった明るい話題もありますが、昨今の厳しい市況の中で、それまで皮革関連の企業が生き残れるかという課題もあります。

実際、ここ数年の間に当地区でも倒産は発生しており、オーナーが変わっているメーカーもあり、明暗がはっきり分かれるなど過渡期の状況にあります。

ほかの地域の集まりと比べたら、リックスの規模は小さいかもしれませんが、今が新しいことをやるチャンスと考え、集まっています。

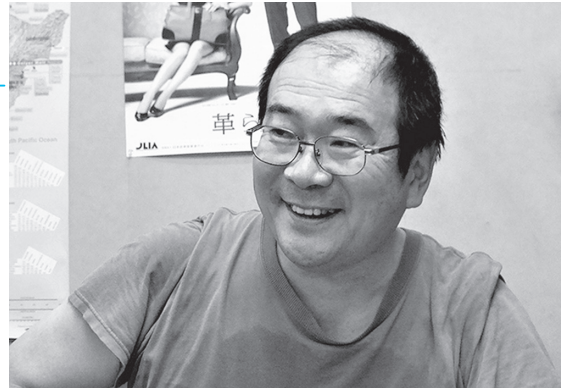
### 日本エコレザーの6つの条件

- 1 天然皮革である
- 2 発がん性染料を使用していない
- 3 有害化学物質の検査をしている  
(ホルムアルデヒド、重金属、PCP、禁止アゾ染料)
- 4 臭気が基準値以下
- 5 適切に管理された工場で作られた革  
(排水、廃棄物が適正に管理された工場で製造)
- 6 染色摩擦堅牢度が基準値以上(※)

※染色された色が摩擦や使用条件にどれだけ耐えるかの指標



三村氏



宮内氏

### タンナーから工房まで 業種・業態の枠を超えて

**吉村** 現在の会員企業を教えてください。

**三村** 会員は全部で21社の登録がありますが、半分以上は個人企業です。宮内産業とメルクスから現在メルセンとなった2社のタンナーが、大きな工場を持っている会員です。紳士ベルトでは飯田右崎が有力メーカーとして入っています。紳士ベルトではもう1社、SADOがこの地

**三村** 設立趣意書の日付は2015年4月1日になっていますが、それより1年ほど前から活動は始まっています。業種の壁を超えて、地域の中で皮革製品を作る企業が集まり、販売会などの活動を行ってきました。そういった活動の他にも勉強会を開き、情報交換会などを行い、皮革産業の課題解決を促す。さらに商品開発・販路開拓を進め、自分たちの地域産皮革製品ブランドを立ち上げ、外に発信することで産業振興に努め、地域経済の発展に寄与できないか、ということになりました。

#### LICS信州皮革産業連合 会員

(有)エーワン	袋物メーカー
(株)エタニティ	バッグ・ベルトメーカー
(株)マイナック	婦人革・毛皮衣料メーカー
宮内産業(株)	タンナー
(株)メルセン	タンナー
エースエ芸	ミニランドセル加工
かがみベルト工房	ベルトメーカー
革泉	ベルト・革小物メーカー
けもかわproject	野生皮活用
(有)ケルビム	財布・革小物メーカー
trackwork(株)	財布・革小物メーカー
(有)ハタナカ	ステアリング革巻き
ミムラビジネスエイド	革小物企画
(株)レプトシャーク	鮫なめし

2017年9月現在

**宮内** ライバル企業と手を組んで、区に大きな工場を持っていますが、残念ながらリックスには参加していません。他にも紳士ベルトでOEMを主力に仕事を受けている、家内工業的な会社が会員になっています。また、皮革衣料も扱うアパレル製造の会社や、レザー製品の企画・デザイン会社もいます。さらに南信州の山の中ということで、駆除獣となっている鹿や猪を対象とした女性ハンターも会員にいます。現状では肉の販売が主力になっていますが、肉を取った後の皮を利用できないかということ、われわれと交流しています。

**三村** 長野の山の中ですが、工場規模の大きなタンナーが2社あることが挙げられます。また、この2社はロードバン、シャーク・エツシカといった希少素材で、それぞれ国内のシェアはトップです。国内紳士ベルトの主要メーカー2社が存在することも、地域としてアピールできることでしょ。このほか、ベルトの「袋無双」と呼ばれる特殊製法で作ることができるメーカーや、「ミニランドセル」「ステアリング革巻き」といった特定の技能を持った職人を抱えていることです。また、アパレルやデザイン・企画ク

つの目的のために活動をするようなことは、これまでならなかったと思います。しかし、先の東京レザーフェアでは当社のブースにメルセンさんの商材も並べ、同時に「LICS」の商品も展示しました。今後、次世代の経営者に移り変わる中で、検討しなければいけないことがたくさんあります。そういったことも、この会の活動を通して考えていこうと思います。

**稲次** 大きな枠での皮革産業の集まりですが、会員企業の特徴としては、どんなことが挙げられますか。



稲次氏



吉村氏

ラフト系の企業が加わっているほか、地元で捕れる野生獣の活用を模索する会員もおり、連携しているかと考えています。このメンバー構成での課題は、絶対的にレディスアイテムが弱いということですね。

### 「LICS」製品には有効 日本エコレザーでの差別化も

**吉村** リックスという団体で、「LICS」という地域ブランドを立ちあげ、先の東京レザーフェアではロゴマークを付けた商品を展示していましたが、来場者の反応はいかがでしたか。

**宮内** 来場された方には、大変関心



LICS会員企業の製品

を持っていただきました。リックスのメンバーは独自製品を持たない素材屋であり、OEM専門のメーカーです。リックスではまず、自分たちが作っているものはこれですと、「LICS」ブランドで作り、販売することでもっと発信していきたいと考えています。

**三村** 「LICS」をブランド化するためのブランディングでは、ホームページの立ち上げも進めています。

**宮内** 以前、東京の百貨店さんから、お客さまを工場見学に連れて行き、現地で革製品の販売を行いたい。その後は近くの温泉地に泊まっていたのでバスツアーを実施したい、といったお話を頂いたことがあった。ハツグ産地の兵庫・豊岡では、工場見学後に城崎温泉に泊まっていたという、同じようなバスツアーがあると聞いています。こうした消費者の直接アピールすることも、「LICS」ブランドのアピールにつながるのではないのでしょうか。

**吉村** 埼玉・草加市では、地区の皮革関連の3団体が連携

し、エコレザーで「革の街」草加をアピールしています。リックスもモノ作りでブランドを発信する場合、メイド・イン・ヤパンの革ですというほか、日本エコレザーを使っています、ということアピールしたほうが、会も商品も説得力が高まるのでは。

**稲次** 海外から日本に買い物に来るインバウンド需要が話題になっていますが、リニアモーターカーの駅が完成すれば、長野・飯田は世界から注目されましよう。彼らはただ買い物をするだけでなく、安心・安全も求めてきています。ここで安心・安全が保証されている日本エコレザーを使い、エコ商品でアピールすれば効果的でしょう。

**宮内** 飯田の特産品としては、水引のほかに、味噌・豆腐・醤油といった食品があります。

革も地場産業として、堂々と発信できるようにしたい。市場がどんどんと縮小する中で、これまでなかった企業の組み合わせで、新しいものを作る。われわれが「LICS」をブランディングする場合は、他にはない、皆が欲しがるものを、革の高級品でアピールすべきだと考えています。

情報交換・勉強会を通し、コラボレーションでモノ作り

**(株)マイナック**  
市瀬和繁社長



アパレル関係の仕事をしていました。ファニーを使った商品や、地元で捕られた鹿の革で作られた洋服をデザインしたことがきっかけで会に参加しました。まだ革の扱いはわずかですが、日本人は革に対しては高い価値観を持っています。今後は皮革もアイテムの中に取り込みたいと思います。

**革泉**  
百瀬憲代表



市内でメンズのベルトと小物を中心に製造しています。独立してまだ間がありませんが、今日までなんとか続けて来ました。革を扱っている関係から、他の方と交流し、情報交換をできればと思います、この会に参加いたしました。

**tracwork(株)**  
近藤サトル社長



アパレルのデザイン企画を行っています。3・11の大震災を機に、この地に根を張り活動するようになりました。地場産業のひとつであるレザーを使ったもの作りで、地域を盛り上げたいと思います、企画・デザインの立場からこの会に参加しています。

**各務メンズベルト**  
各務共栄代表



「袋無双」という縫い目の見えない製法でベルトを作っています。しかし、この製法に対する認知度や評価は低いのが現状です。最近のメーカー・卸からは、とにかく安く作ってくれという要望ばかりです。いいもの、特殊なテクニクが必要なモノを作る機会が減っています。